

ラテン・アメリカ政経学会 2025 年度会員総会資料

2025 年 11 月 29 日（土）

青山学院大学相模原キャンパス（オンライン併用）

議事次第

議長、書記の選出

報告事項

1. 次期理事選挙の実施について（舩方選挙管理委員長）（資料 1）
2. 優秀研究賞、若手研究奨励賞授賞者の決定について（宇佐見選考委員長）（資料 2）
3. 『ラテン・アメリカ論集』第 59 号の発行について（幡谷理事）（資料 3）
4. 会計文書管理内規について（理事長）（資料 4）
5. 会員の入退会にともなう会員数動向について（理事長）（資料 5）
6. 2026 年度全国大会開催校（理事長）
7. その他

審議事項

1. 2024 年度活動報告（理事長）（資料 6）
2. 2024 年度会計報告・監査報告（村上理事、北野幹事、森口幹事）（資料 7）
3. 2026 年度事業計画（理事長）（資料 8）
4. 2026 年度予算案（理事長）（資料 9）
5. 学会規約等の改正（理事長）（資料 10）
6. 総会による次期理事の選出（坂口理事）（資料 11）
7. 次期監事の選出（理事長）
8. その他

その他

事務局より（坂口理事）

総会に続いて、2025 年度・優秀研究賞、若手研究奨励賞の表彰式を行う。

以上

(資料1)

次期理事選挙の実施について

選挙管理委員会
委員長 舩方周一郎

2024 年度会員総会において舩方周一郎、宮地隆廣、藤井嘉祥の 3 名が選挙管理委員に選出され、委員の互選により舩方が委員長に選出された。理事選挙実施要綱により、2025 年 3 月末時点において 2024 年度会費を納めた会員からなる有権者名簿 131 名と、直近において連続二期理事を務めた者を除外した候補者名簿を作成した。

今回の選挙は、株式会社グラントが提供する「e 投票」サービスを利用したオンライン投票により実施した。投票は無記名、5 名連記で行った。投票期間は 2025 年 6 月 2 日(月)から 7 月 4 日(金)までとした。7 月 6 日に開票を行ったところ、結果は以下の通りであった。

投票者数と投票総数

投票者は 75 名で、有権者総数に対する投票率は 57.25%であった。その結果、投票総数は 375 票で、このうち有効投票数は 353 票、白票が 22 票あった。5 名に満たない投票は記入分を有効票とし、無記入分は白票とした。

当選者の認定

理事選挙実施要綱により、得票数の多かった下記の上位 6 名を当選とした。

1	坂口安紀	24
2	笛田千容	22
3	清水達也	18
4	内山直子	17
	河合沙織	17
6	受田宏之	16

選挙結果の取り扱いについて

本選挙では、5 名に満たない記入があった場合、記入分を有効票、未記入枠を白票として集計した。オンライン投票システム（e 投票）の仕様上、同一候補への重複記入はできない一方、5 名未満の記入を受け付けられない設定は用意されていなかったため、会員の意思表示を最大限尊重する形で集計方法を定めた。

ただし、案内メールには過去の案内文を引き継いだ文言として「6 名以上の投票、4 名以下の投票、同じ人への複数の投票は、いずれも全票が無効」との記載が残っていた。今回の

運用（5名未満は記入分のみ有効）と整合していない当該文言を削除しなかったことをお詫
びしたい。他方、オンライン化により同一候補への重複記入は技術的に防止されており、未
記入枠を白票として取り扱う方式は、会員の意思（記入分）をより適切に反映するという点
で妥当と考える。

以上

(資料2)

ラテン・アメリカ政経学会優秀研究賞および若手研究奨励賞の選定について

選考委員長 宇佐見耕一

理事会の委嘱により幡谷則子、宇佐見耕一、松井謙一郎の3名が選考委員に就任し、委員の互選により宇佐見が委員長に選出された。2025年2月20日から4月20日の期間に募集が行われ、3名の会員から自薦により応募があった。

選考委員会は、厳正に審査を行った結果、以下の通り授賞業績を決定した。

優秀研究賞

村上善道氏 Do deep regional trade agreements facilitate regional production networks in Latin American and Caribbean countries? *Review of World Economics* (2025).

<https://doi.org/10.1007/s10290-024-00579-9>

若手研究奨励賞

吉村 竜氏 『果樹とはぐくむモラル—ブラジル日系果樹園からの農の人類学』春風社、2024年。

(資料 3)

『ラテン・アメリカ論集』第 59 号の発行について

編集委員長 幡谷則子

第 59 号 目次

<学会創立 60 周年記念：依頼論文>

小池洋一 ラテン・アメリカ政経学会 60 年と今後の課題

<特別講演>

Carlos Aguiar de Medeiros

The Chinese Rise and the Brazilian Economy: Opportunities and Challenges

<研究論文>

野口 駿之介

サントス港から輸出されるコーヒーの商品連鎖

—世界恐慌前（1914–1929 年）におけるコミサリオの商品化機能—

岡田勇・菊池啓一・舩方周一郎

ブラジルにおける感情的分極化と宗教

—独自データによる一考察—

<書評>

田中高 著『砂糖のグローバル・イシュー：植民地時代から現代まで』 橋口義彦

住田育法・牛島万 編著『ラテンアメリカをめぐるグローバル経済圏：「潮と風」と帆船によるポルトガル・スペインのネットワーク』 所 康弘

上谷直克・菊池啓一・三浦航太 編著『現代ラテンアメリカ政治を読み解く』 舩方周一郎

ディエゴ・サンチェス＝アンコチェア 著（谷 洋之・内山直子 訳）『不平等のコスト—ラテンアメリカから世界への教訓と警告』 久松佳彰

石黒 馨・福間真央・額田有美 編著 『アクティブラーニング 多文化の共生社会を創る』 田村梨花

<学会消息>

ラテン・アメリカ政経学会会計文書管理内規

(目的)

第 1 条 この内規は、ラテン・アメリカ政経学会における会計処理に関する文書および帳票（以下、文書という）の保存と廃棄処分を適切に行い、事務の合理的運営に資することを目的とする。

(適用文書の範囲)

第 2 条 この内規の適用を受ける文書は、見積書、納品書、請求書、領収書、会費等の入金に関する書類、振込支払いに関する書類、帳簿、預金通帳、支出証拠書類、電子データ、コンピューターの記録媒体、その他会計業務に必要な一切の記録で、一定期間の保存を要するものをいう。

(文書の主管)

第 3 条 第 2 条に定める文書の主管者は、会計担当理事とする。

(文書の保存または保管方法)

第 4 条 文書の主管者は情報の散逸防止に努めなければならない。

2 事務処理を終えた文書は、文書名、保存の開始日、保存期間、その他当該文書の保存に際し必要な事項を明記して保存しなければならない。

3 本内規施行後に発生する紙の文書は、原則として電子データとして速やかにコンピューターの記録媒体に保存しなければならない。

4 電子データ化した後の文書原本は会計報告に対する総会での承認を受けるまで保管しなければならない。

5 本内規発施行前に発生した紙の文書は電子データ化することなくそのまま保存してもよい。

6 文書の保管場所は事務局担当理事を通じ理事会に対して明らかにしなければならない。

(文書の保存期間)

第 5 条 文書の保存期間は、法令その他により特に定める場合のほか、原則として発生後 5 年が経過した会計年度末までとする。

(廃棄処分)

第 6 条 文書保存期間を経過した文書は、文書主管者が廃棄する。

(本内規の改廃)

第 7 条 この規程の改廃は、理事会の決議による。

附則 この内規は 2025 年 10 月 17 日から施行する。

会員の入退会にともなう会員数動向について

新入会員

白方信行（正会員、外務省・在ベリーズ日本大使）

高橋光一（学生会員、神戸大学大学院国際協力研究科）

中山直哉（正会員、法政大学大学院イノベーションマネジメント研究科）

橋口奈奈穂（学生会員、横浜国立大学大学院都市イノベーション学府）

藤城一雄（正会員、日本大学国際関係学部）

会員数動向（人）

2024 年 11 月定期大会時	149
2025 年度動向	
退会・除名	4
入会	5
2025 年 10 月 26 日現在会員数	150
正会員	121
シニア会員	17
学生会員	12

2024 年度活動報告

2024 年度（2024 年 4 月～2024 年 12 月）に以下の事業を行った。

- (1) 11 月 9 日（土）～10 日（日）に龍谷大学を主催校に第 61 回全国大会をハイブリッド形式で開催した。
- (2) 『ラテン・アメリカ論集』第 58 号を発行し、J-STAGE に掲載した。
- (3) 創立 60 周年事業として学会ウェブサイトのデザイン変更を検討した。新ウェブサイトの公開は 2025 年 3 月末に延期した。
- (4) 8 月 10 日（土）にオンライン・ラウンドテーブル（ORT）を開催した。
- (5) 11 月 30 日（土）に開催された地域研究コンソーシアム 2024 年度年次集会（ハイブリッド開催）に参加した。12 月 14 日（土）に地域研究学会連絡協議会連絡会議（オンライン開催）に出席し、ニューズレターに活動状況報告を寄稿した。
- (6) 学会ウェブサイトを更新して社会に情報を発信するとともに、メーリングリストを通じて会員向け情報提供のサービスを提供した。

以上

(資料 7)

2024 年度会計報告・監査報告

ラテン・アメリカ政経学会
2024年度（2024年4月1日～2024年12月31日）会計報告
（2024年12月31日現在）

収入の部			支出の部	
前期繰越金	3,915,684	A		
会員会費収入	712,000		2024年度全国大会大会関係費	89,297
（個人会員）	712,000		J-Stage掲載費用	59,730
（非会員参加費）	0		消耗品費	0
雑収入	0		通信費（郵送費・振込手数料を含む）	4,086
（預金利息）	0		事務局経費	36,354
			創立60周年事業費	462,120
収入合計	712,000		支出合計	651,587
差引残高（収入－支出）	60,413	B		
			次期繰り越し金（A+B）	3,976,097

注記：収支は現金ベースのものとする。

会計監査報告

上記の2024年度会計報告は、領収書ほかの証拠書類と照合したところ、適正に処理されていると認めます。

2025年 10 月 8 日

監事

森口 舞



監事

代野 浩一



2026 年度事業計画（案）

2026 年度（2026 年 1 月～12 月）に以下の事業を行う。

- (1) 南山大学を開催校に第 63 回全国大会を開催する。
- (2) 『ラテン・アメリカ論集』第 60 号を発行する。
- (3) オンライン・ラウンドテーブル（ORT）を開催する。
- (4) 地域研究学会連絡協議会および地域研究コンソーシアムの加盟学会として関係学会と交流する。
- (5) 学会ウェブサイトを更新して社会に情報を発信するとともに、メーリングリストを通じて会員向け情報提供のサービスを提供する。
- (6) その他、本学会の目的に沿う事業を実施する。

以上

(資料 9)

2026 年度予算 (案)

2026 年度 (2026 年 1 月～2026 年 12 月) 予算 (案)

収入の部			支出の部	
前期繰越金	3,600,997			
会員会費収入	934,000		全国大会開催関係費	300,000
(個人会員)	934,000		論集編集・公開費	500,000
(維持会員)	0		事務局経費	134,000
雑収入	0			
収入合計	934,000		支出合計	934,000
			次期繰越金	3,600,997

(注)

- ・ 創立 60 周年記念事業の一部として承認された 2024 年度予算「学会ウェブサイトリニューアル費」の支払いを 2025 年度に行った。前期繰越金は、その金額 375,100 円を 2024 年度繰越金 3,976,097 円から差し引いた 2025 年 12 月末時点の繰越額の予測に基づいている。
- ・ 会費収入は総会開催時点の会員種別会員数に基づいている。
- ・ 論集編集・公開費は掲載用製版と J-Stage 掲載に必要な費用である。
- ・ 全国大会開催関係費は開催校補助 (200,000 円) と全国大会参加支援費 (100,000 円) を含んでいる。
- ・ 事務局経費はウェブサイトの維持経費、通信費、作業アルバイト謝金等を含む。

学会規約等の改正

資料 10－1

学会の銀行口座開設・維持の手続きに対応するため**学会規約**の雑則の一部を改正する。

改正前

雑 則

事務局 本会の**事務局**の所在地は、理事長の所属機関内あるいは自宅に置く。

改正後

雑 則

事務局 本会の所在地は、理事長の所属機関内あるいは自宅に置く。

資料 10－2

理事選挙のオンラインシステムへの移行に伴い、**理事選挙実施要綱**の一部を改正する。

改正前

5. 投票は無記名とし、5 名連記として行う。

改正後

5. 投票は無記名とし、**最大 5 名までの連記とする。同一の候補を複数回記名することはできない。**

総会による次期理事の選任について

ラテン・アメリカ政経学会理事選挙実施要綱第 1 条の(2)により、会員総会は選挙により選任された理事の推薦にもとづき会員の中から約 4 名の理事を選任する。選挙により選任された理事は以下の 4 名を推薦する。

上谷直克
宇佐見耕一
子安昭子
高橋百合子

次期理事会（2026・27 年度）の役割分担を以下のとおりとする。

理事長 坂口安紀

副理事長（『論集』編集委員長、奨励賞担当、渉外、理事長補佐） 宇佐見耕一

副理事長（事務局担当、理事長補佐） 高橋百合子

会計 河合沙織

編集 内山直子 子安昭子 上谷直克 笛田千容

ウェブ担当 清水達也

オンラインイベント・大会担当 受田宏之